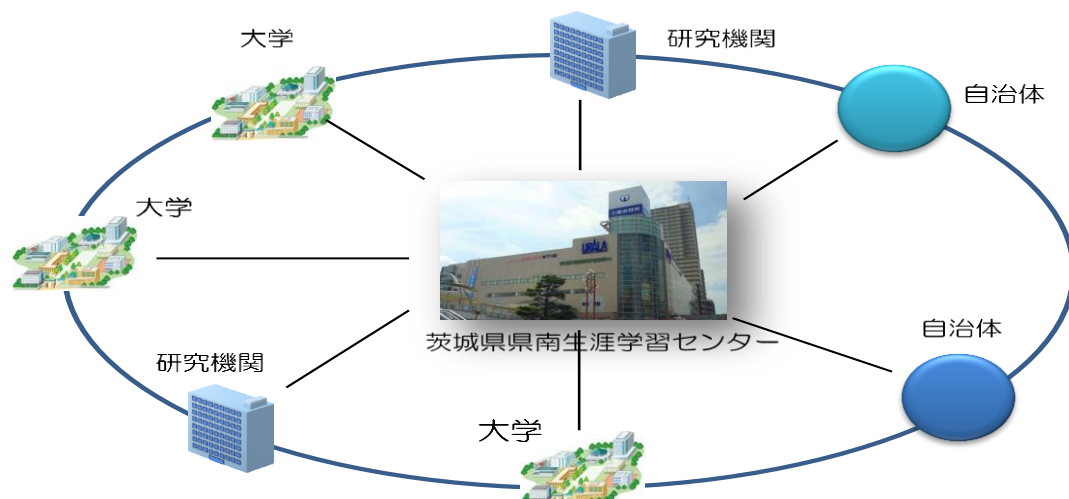


大学等地域連携調査研究・プログラム開発・普及事業

事業要旨

県内各地域の科学、産業技術、医療、福祉、環境等様々の研究機関や大学と連携し、地域（市町村）が抱える様々な現代的・地域的課題の解決に向けて調査研究・プログラム開発をおこない、その普及を図る。



【5年間の取組】

平成28年度

事業についての概要を全県下に周知するとともに、県南地区14市町村を対象に、「大学及び研究機関等と地域との連携についてのアンケート調査」を実施した。その調査結果をもとに検討した結果、平成29年度のモデル事業として土浦市のプログラム「土浦カレッジ」を実施することに決定した。

平成29年度

県央・県北地区15市町村を対象に上記の調査を実施した結果、平成30年度モデル事業として城里町のプログラム「城里っ子育成事業」を実施することに決定した。「土浦カレッジ」は3講座を開催し、受講生221人を数えた。

平成30年度

鹿行地区5市を対象に上記の調査を実施した結果、令和元年度モデル事業として潮来市プログラム「Once Upon a Time in 潮来」を実施することに決定した。2年目の「土浦カレッジ」は4講座を開催し、受講生252人を数えた。「城里っ子育成事業」は、ふれあい会（選手5名）、ワークショップ・グッズ制作（講師2名）、交流会をそれぞれ1回ずつ実施し、子供会・高校生会の参加者のべ人数は83人であった。

令和元年度

3年目の「土浦カレッジ」は3講座を開催し、受講生171人を数えた。2年目の「城里っ子育成事業」は昨年度に倣い、ふれあい会・グッズ制作会・交流会を1回ずつ実施し、子供会・高校生会の参加者のべ人数は昨年度同様83人であった。潮来市プログラム「Once Upon a Time in 潮来」は、県立潮来高校地域ビジネス科学生が島崎城跡を守る会・潮来市風土記の里保存会等の協力を得て、史跡を取材し潮来市の魅力再発見としてまとめ情報発信を行った。なおこの年度は、国体開催やコロナ禍のため大学等地域連携委員会が開催できなかった。次年度に向けて、県西地区10市町を対象に上記の調査を実施した。

令和2年度

3モデル事業ともコロナ禍のために、休止状態になってしまった。事業の最終年度にあたることから、普及・啓発活動に力点を置くこととなり、9月に普及検討会議を行い、今後の普及・啓発のあり方について協議した。当センターHP上に本事業の資料を掲載し、検索ができるようにした。